

静岡県営林 カーボン・クレジットの販売

静岡県 暮らし・環境部 環境局 環境ふれあい課
経済産業部 森林・林業局 森林整備課

目次

- 01 森林吸収系J-クレジットの価値
- 02 森林吸収系J-クレジットの活用方法
- 03 登録プロジェクトの紹介
- 04 静岡県県営林
カーボン・クレジットの特徴
- 05 令和8年度の販売計画
- 06 県が目指すもの

01 森林吸収系J-クレジットの価値

森林吸収系J-クレジットとは・・・

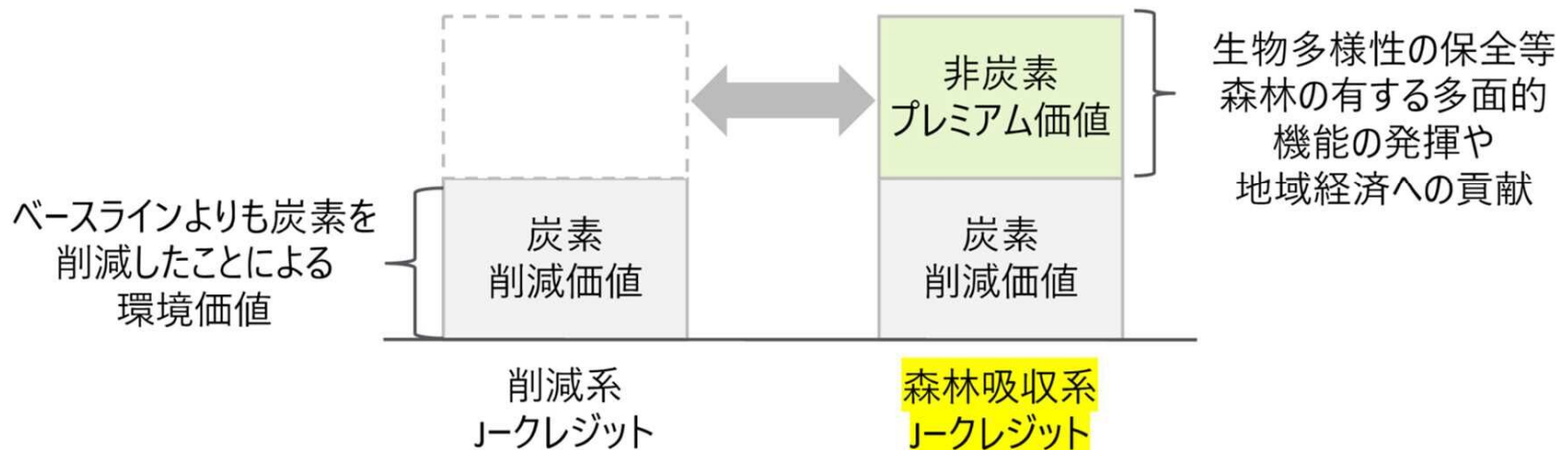
- 森林がCO₂を吸収・固定する働きを価値としてクレジット化したもの

区分	森林吸収系	省エネ系	再エネ系
内容	森林がCO ₂ を吸収・固定する量	排出量を減らした量	化石燃料由来の排出を代替した量

森林吸収系J-クレジットの購入・活用

- 炭素削減価値に加え、**過去や未来の森林整備に貢献**
- 生物多様性の保全等の**森林の有する多面的機能の発揮**や、**地域経済へ貢献**

森林吸収系J-クレジットの価値のイメージ



01 森林吸収系J-クレジットの価値

静岡県営林カーボン・クレジットの価値

静岡県営林とは・・・

明治38年に地域林業の振興等への寄与のため設置され、近年は、水源涵養等の森林の持つ多面的機能の維持増進や体験学習の場としてのフィールドの提供、地域林業の模範となる森林経営など、社会的要請にこたえながら木材生産と森林整備を行っている。

- 県民が活用する**体験学習の場としての**フィールド整備**
- 広域的な地域経済、森林の有する多面的機能発揮による地域創生**
- J-クレジット制度を活用した森林経営の波及**



02 森林吸収系J-クレジットの活用方法



環境貢献企業等 としてのPR効果

ESG投資が拡大する中、
森林保全活動の後押しなど、
環境貢献企業等として
PR効果が期待できます。



企業等の評価向上

各種企業評価調査等
においてクレジット購入を
PRすることで企業評価の
向上が期待できます。



製品・サービスの 差別化

製品・サービスにかかる
CO₂排出量をオフセットす
ることによる差別化・ブラン
ディングができます。

●カーボン・オフセット

- ・企業活動に伴う排出量の一部を森林吸収系J-クレジットで相殺
- ・プロスポーツ(Jリーグ、プロ野球、Bリーグなど)開催時の排出量を相殺

●製品・サービスの差別化

- ・融資(カーボンオフセットローン)と組み合わせた活用

03 登録プロジェクトの紹介

●都田県有林ほか4林地 におけるJ-クレジット創出PJ (プロジェクト番号:JCS-PJ00460)

認証対象期間

R6(2024)からR13(2031)まで(8年間)

想定吸収量(累計) **13,277 t-CO2**

面積 : 525.07ha

蓄積 : 101,462m³

樹種 : ヒノキ:スギ 9:1

所有 : 静岡県

林地 : 【浜松市】引佐県有林、都田県有林、
阿多古県有林
【島田市】東光寺県有林
【伊豆の国市】田中山県有林

●稲梓県営林における J-クレジット創出PJ (プロジェクト番号:JCS-PJ00393)

認証対象期間

R5(2023)からR12(2030)まで(8年間)

想定吸収量(累計) **6,231 t-CO2**

面積 : 285.18ha

蓄積 : 68,052m³

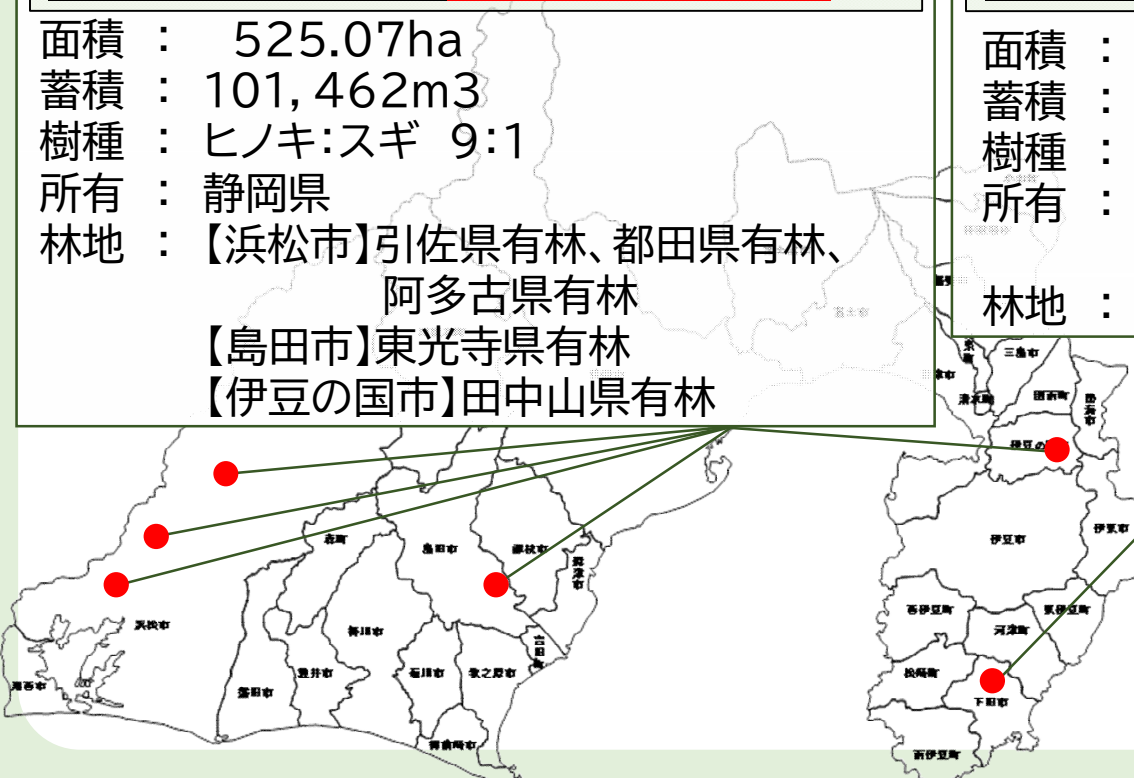
樹種 : ヒノキ:スギ 5:5

所有 : 分収契約【明治41年3月31日
~令和15年12月31日(最長)】

林地 : 【下田市】稲梓県営林

森林認証林

FSC森林認証又は、
SGEC・PEFC森林認証を取得



04 静岡県県営林カーボン・クレジットの特徴

●森林認証林からの創出

森林認証とは・・・

- ・世界基準の森林管理に基づき、「環境」「経済」「社会」が調和した**持続可能な森林経営**を実践するもの



静岡県県営林カーボン・クレジットは、

世界基準の森林管理から創出されたクレジットです。

05 令和8年度の販売計画

販売量 1,516 t-CO₂(予定)

直接販売

県が、
購入希望者へ販売

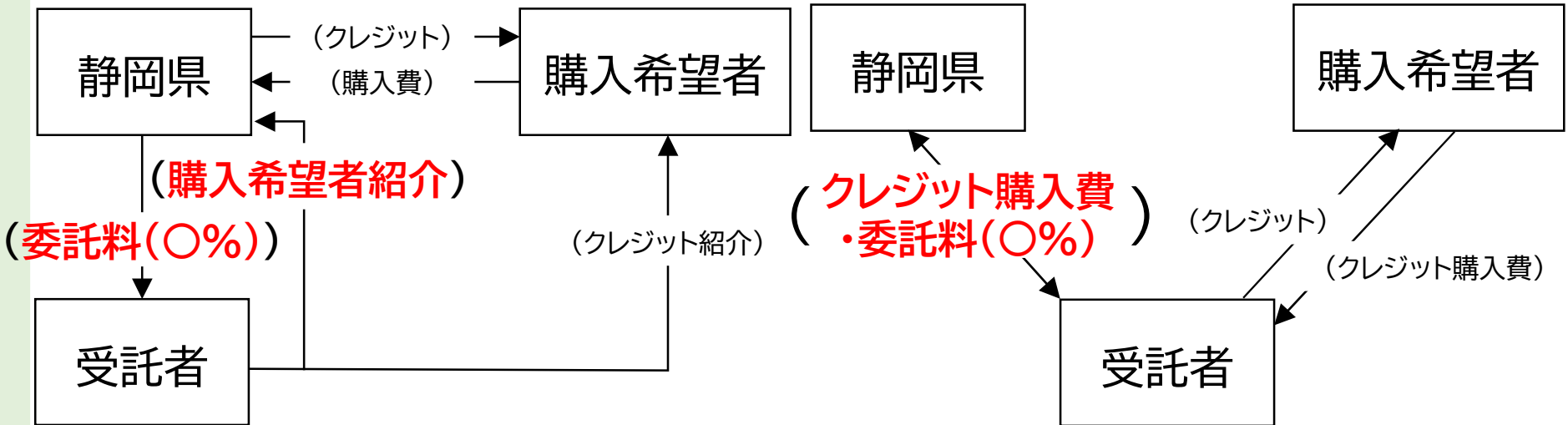
委託販売

販売業務委託の受託者
からの紹介を通じた販
売や、仲介による販売

05 令和8年度の販売計画

紹介業務委託販売

仲介業務委託販売



県営林Jクレジット
販売サイト

※詳細は、県HPで御確認ください

06 県が目指すもの

- Jクレジットの販売収入を
森林整備に再投資する循環的な仕組み
- 県内企業等との連携による地域内循環の形成

